

平成21年10月15日
於
府中市立教育センター

平成21年第10回

府中市教育委員会定例会会議録

府中市教育委員会

平成21年第10回府中市教育委員会定例会会議録

- 1 開 会 平成21年10月15日(木)
午後1時30分
閉 会 平成21年10月15日(木)
午後2時41分
- 2 会議録署名員
委 員 北 島 章 雄
委 員 糸 満 純一郎
- 3 出席委員
委員長 久 芳 美恵子 委員長職務代理者 崎 山 弘
委 員 谷 合 隆 一 委 員 北 島 章 雄
教育長 糸 満 純一郎
- 4 欠席委員
な し
- 5 出席説明員
教育部長兼指導室長 酒 井 泰 文化スポーツ部長 大 野 明
教育部副参事 田 中 陽 子 文化スポーツ部次長 齋 田 文 雄
兼学務保健課長 兼生涯学習スポーツ課長
学校耐震化等推進 宮 本 正 男 文化振興課長 後 藤 廣 史
担当主幹 兼文化財担当主幹
総務課長補佐 河 野 孝 一 文化財担当副主幹 英 太 郎
指導室長補佐 桑 田 浩 図書館長補佐 矢 部 隆 之
指導室副主幹 師 岡 政 行 美術館副館長 石 井 順 子
統括指導主事 金 子 真 吾
指導主事 出 町 桜一郎
指導主事 長 井 満 敏
指導主事 国 富 尊
指導主事 乙 幡 英 剛
- 6 教育委員会事務局出席者
総務課係長 田 中 啓 信
総務課主任 山 本 正 芳

議 事 日 程

第1 会議録署名員選定について

第2 会期決定について

第3 報告・連絡

- (1) 平成21年度日光林間学校実施結果について
- (2) 新型インフルエンザの現状について
- (3) 平成22年度社会教育施設の臨時休館日等について
- (4) ふるさと府中歴史館（仮称）の耐震改修展示工事の実施について
- (5) 地区図書館の臨時休館について
- (6) 企画展「市制施行55周年記念 ターナーから印象派へ「光の中の自然」」について
- (7) 府中の森の文化まつりについて

第4 その他

第5 教育委員報告

午後1時30分開会

○委員長（久芳美恵子君） ただいまより、平成21年第10回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 本日の会議録署名員は、北島委員と糸満委員にお願いします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 会期は本日1日といたします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 傍聴希望者が2名おりますが、傍聴を許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

では、お願いいたします。

_____ ◇ _____

◎平成21年度日光林間学校実施結果について

○委員長（久芳美恵子君） 本日は議決を伴う議事はございません。報告・連絡から始めさせていただきます。報告・連絡（1）について、学務保健課をお願いします。

○教育部副参事兼学務保健課長（田中陽子君） それでは資料に基づきまして、平成21年度日光林間学校実施結果についてご報告いたします。

6年生を対象に、実施期間といたしまして7月22日から8月9日まで実施いたしました。

1の学校別参加状況でございますが、記載のとおりでございます。在籍数2,160人に対しまして、参加数2,134人で、参加率は98.8%ございました。

不参加の理由でございますが、発熱や頭痛等、体調不良が10名、また家庭の事情で9名、少年野球の試合の参加とか、旅行とか、体操の全国大会出場などその他として7名、合計26名の欠席がございました。

昨年は100%の参加率の学校が10校ございましたが、今年度につきましては5校と減になっております。

2の年度別参加率の状況をご覧ください。昨年度と比較いたしますと減になっておりますが、今年度につきましては、新型インフルエンザの影響もあるかと思っています。

次ページをお開きください。保健室利用状況を記載しております。府中第一小学校から日新小学校まで記載されておりますが、今年度につきましては、合計256名の児童が保健室を利用いたしました。

また、今年度の特徴といたしまして、新型インフルエンザの対応が見られます。各学校とも事前から対応してきたところですが、第三小学校につきましては、ご存じのとおり、日光林間学校の行きバスの中での感染から42名に感染が広がりました。予測のできない感染力で、第三小学校につきましては対応に苦慮したところですが、ホテル側、また添乗員の協力で、感染した児童を隔離したり、対応に務め、3日間の行程をすべて終わることができました。第三小学校が前半に行かれましたので、第三小学校より後発の学校につきましては、第三小学校の話を伺いながら、また新型インフルエンザの予防に努めながら、全22校、夏季休業中にすべて終了することができましたことをご報告いたします。

なお、日光ではないのですが、移動教室につきまして、秋の第六小学校が10月5日、6日、7日に行く予定でございましたが、新型インフルエンザで学年閉鎖がございまして、10月26日、27日、28日に変更しております。

また、小柳小学校につきましても、10月13日、14日、15日で行く予定が、ここも学年閉鎖がございまして、11月12日、13日、14日に延期しておりますことをご報告いたします。

以上です。

○委員長(久芳美恵子君) ありがとうございます。

この件につきまして、何かご質問、ご意見はございますでしょうか。

一つよろしいでしょうか。保健室を利用した子どもたちは、昨年度等に比較して特別に多かったとか少なかったとか、そういうことはございますでしょうか。

○教育部副参事兼学務保健課長(田中陽子君) 昨年度と比較しまして10名減になっております。ただ、ここの備考欄に書いてありますように、病院に行った数ですね。これは発熱等で、その数は多くなっております。本年度につきましては、7名が病院のほうに受診をしております。

○委員長(久芳美恵子君) そのほかは例年と大して変わりはないということでございますね。はい。お願いいたします。

○委員(谷合隆一君) 関連した質問なのですが、保健室の利用者は昨年と変わらないという説明がありましたけれども、例えば第五小学校とか武蔵台小学校、武蔵台小学校は特に利用者なしということで、これは何て言うのでしょうか。学校ごとに、今年はゼロだったけれども去年は10人だとか、何かそういう、1ページ目の表の中に、先ほど委員長から出された年度別の利用者の割合というのですか、そういったものも今度、出していただくと、何か学校ごとに対比すると言いますか、あるような気がするんですね。割とたくましい学校だったり、すぐに利用したがるような学校だったり、これは指導によるかもしれませんし、何か、なるべく元気で保健室を利用しないのが一番望ましいので、皆さんで話し合う場での参考になればいいのではないかなと思いますので、今後で結構ですので、よろしくお願いいたします。

○教育部副参事兼学務保健課長(田中陽子君) はい、わかりました。

○委員長(久芳美恵子君) 学校の差を見ようというのではなくて、いろいろな状況がございまして、できるだけわかりやすい形でお願いいたします。

ほかにいかがでしょうか。この98%以上の参加率というのは高いですね。本当に子どもたちがいかに楽しみにしているかがとてもよくわかると思いますが。それでは、ほかにご意見等ございませんようでしたら、報告・連絡(1)平成21年度日光林間学校実施結果につきまして、了承いたします。



◎新型インフルエンザの現状について

○委員長(久芳美恵子君) 次に、報告・連絡(2)につきまして、同じく学務保健課お願いいたします。

○教育部副参事兼学務保健課長(田中陽子君) それでは資料2に基づきまして、新型インフルエンザの状況につきましてご報告させていただきます。

まず9月1日から10月14日、学級閉鎖につきましては、幼稚園が1学級、小学校が66学級、中学校が22学級ございました。初発の学級は9月4日の南町小学校が初発で学級閉鎖がございました。

次に、学年閉鎖でございますが、初発はやはり南町小学校で、9月7日の5年生が初発で学年閉鎖を行いました。幼稚園が1学年、小学校が17学年、中学校8学年と学年閉鎖がございました。

次に、学校閉鎖でございますが、10月に入ってから学校の閉鎖ですが、10月9日から10月12日に小柳幼稚園、また小学校はゼロですが、中学校につきましては10月5日から10月9日の第二中学校、10月13日から10月17日が浅間中学校、2校の中学校で学校閉鎖をしております。

この罹患状況でございますが、夏季休業中は115人、また9月1日から9月30日は277人、10月1日から10月14日、今月なのですが、604人と。全部で996人が罹患しております。児童・生徒数が合わせて1万8,921人でございますので、罹患率は5.3%になっております。

本当に10月に入ってから、市内全体にもう蔓延している状況で、新型インフルエンザのワクチン接種が始まるまでは、しばらくこの状況が続くのではないかと想定しております。今後においても、感染件数は増加傾向が続くと思われまので、引き続き感染予防に努めてまいりたいと思います。

次ページからは、学級閉鎖、学校閉鎖等の一覧でございますので、参考までにお目通しいただければと思います。

この新型インフルエンザに対しまして、運動会につきましては、第八小学校、第八中学校、小柳幼稚園が延期になっております。小柳幼稚園につきましては、今週の土曜日、17日に実施することを決定しておりましたが、いまだに年長さんが学年閉鎖をしておまして、17日にやるのは難しいということで、また後日に予定を変更して開催したいと考えております。

以上です。よろしくお願いたします。

○委員長（久芳美恵子君） 新型インフルエンザの現状についてご報告いただきました。ご質問、ご意見等をお願いいたします。はい、お願いたします。

○委員（崎山 弘君） これは非常に地域的な現象でありまして、先週、全国的な保育園関係の学会で小児科医の先生たちと話をすると、全然はやっていない県もあるのです。何で局所的に流行するのか、よくわからない。府中もそうですが、国分寺市もかなりはやっていて、小金井市もかなりはやっている。国立感染症研究所のホームページですけれども、神奈川県、東京都はかなり流行が激しい地域になっております。これはしばらく続きそうな気配だとは思いますが。

新型インフルエンザワクチンは、今の状況では、医療機関に今月26日ぐらいに納入、第1回目の納品がある予定になっておりますが、優先順位が一番目は、まず医療関係者になっていて、11月に接種するのは基礎疾患を持っている皆様なので、小学生、中学生に関して言うならば、喘息のある人、あるいは糖尿病とか腎臓病とか心臓病のある人だけが、まず対象となります。その後、それ以外の子どもたちに回るので、多分、何も既往のない小学生、中学生が接種できるとしても、年明けぐらいになるという予定が、今、医師会側からは伝わっています。

これもまだ情報だけで、個別にそうなるかわかりませんが、早まることは少なくともなさそうです。

○委員長（久芳美恵子君） 年明けまでは、この状態でいくということですね。

○委員（崎山 弘君） そうですね。もともとインフルエンザのワクチンは、有効率が、有効率は数字で説明するのは難しいのですが、もともと普通の季節性インフルエンザに関しての有効率は65%ぐらいなので、だからこそ、なるべく多くの人を受けてもらいたいのですけれども、残念ながら多くの人が一気に受けるというような供給量がないのが事実です。あと、季節性のインフルエンザワクチンに関して、今年は通年よりも供給量が3割減ぐらいなので、うちでもかなり、希望されても、今ある在庫は全部売約済みという状況で、今から予約されても、うちはもうできませんとお断りしている状況なので、季節性インフルエンザに関しても、これからまだ流行がどうなるか注目、医者の間でも注目されているところです。これで新型が終わったなと思ったら、今度はいつものインフルエンザがはやる可能性があるということです。

○委員長（久芳美恵子君） ほかにいかがでしょうか。

先日、崎山先生が、第三小学校の校長先生その他の方々からいろいろお聞きいただいてまとめられたものを見させていただきましたが、その中では、やはりマスクの着用であるとか、うがい、手洗いというのがかなり有効であるという感じを受けました。それを踏まえてということでは全然ないのですが、一度学級閉鎖とか学年閉鎖になった学級が、何日間か何週間か置いて、もう一度またそういう状況になるということは、今の状況であるのでしょうか。

○教育部副参事兼学務保健課長（田中陽子君） それはございます。例えば、2学級以上になると学年閉鎖をとる場合があります。例えば4年1組と4年3組が学級閉鎖になったと。一応学年閉鎖にしていると、週明け、今度は月曜日になると、ほかのクラスが出てしまったりとか、それで、またその学級がもっと増えてしまって、継続して7日間とか、普通4日間の学級閉鎖にしているのですけれども、延長して学級閉鎖になったりとか。ですので、その学級が4人以上、約1割、10%以上になりますと学級閉鎖をとっていただくのですが、一旦やめても、また、全員の子がなるわけではないので、その傾向はここのところ見られる状況でございます。だからといって、学級閉鎖をしないほうが良いということではございませんので、やはり学級閉鎖をしながら、爆発的な流行を避けるような形で、今、進めております。

○委員長（久芳美恵子君） わかりました。幸いなことに、症状が重くなる方が少ないことがありますけれども、対応のほう、よろしく願いいたします。

それでは、新型インフルエンザの現状についての報告を了承いたします。



◎平成22年度社会教育施設の臨時休館日等について

○委員長（久芳美恵子君） 次に、報告・連絡（3）につきまして、文化振興課お願いいたします。

○文化振興課長兼文化財担当主幹（後藤廣史君） 資料3に基づき、社会教育施設の来年度、平成22年度臨時休館日等についてご報告いたします。

各施設は数カ月前より予約等が入りますので、早目にご報告申し上げます。

まず生涯学習センターは、定例の休館日は第1月曜日、第3水曜日及びその翌日、木曜日で

ございますが、そのほかに記載の9月23日（木）、2月11日（金）が臨時休館となります。

郷土の森博物館は、毎週月曜日の定例の休館日のほかに、記載の臨時休館日を設けます。また、7月、8月の夏休み及び2月、3月の梅まつりの時期に臨時の開館日を設けます。

次に、総合体育館及び押立体育館ほか五つの地域体育館は、第1・第3・第5月曜日の定例の休館のほかに、記載の臨時休館日となります。朝日体育館は記載のとおりでございます。

次に、図書館でございますが、中央図書館、地区館11館、そして生涯学習センター図書館は記載のとおりでございます。

それから最後に美術館でございますが、ただいま、来年度、企画展計画の最終の詰めを行っておりますので、企画展の計画ができ次第、展示や準備等の臨時休館を設定いたしまして、次回以降の定例会にご報告する予定でございます。

以上、よろしく願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） 社会教育施設の臨時休館日等につきましてのご報告でございますが、何かご質問等ございますでしょうか。よろしゅうございましょうか。

なければ、特に先ほどご説明がありましたように、郷土の森は7月、8月、2月、3月と臨時の開館日を設けていただきまして、ありがとうございます。市民の方や、また遠くから、いろいろ楽しみにしてくださる方もいらっしゃると思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

はい、どうぞ。

○委員（崎山 弘君） 生涯学習センターの9月23日、これは理由のところに情報システムの保守点検とあるのですが、例えばこの9月23日あたりが、例えば台風とかでできなかった、みたいなことが考えられます。そうすると、年に1回か2回しかない点検がもしできなかった場合とかは、それでも大丈夫だと考えてよろしいのでしょうか。

○文化スポーツ部次長兼生涯学習スポーツ課長（齋田文雄君） 内部の点検ですので、特に台風等の影響は受けにくいと思います。

○委員長（久芳美恵子君） ほかにいかがでしょう。よろしいですか。

それでは、報告・連絡（3）平成22年度社会教育施設の臨時休館日等について、了承いたします。

————— ◇ —————

◎ふるさと府中歴史館（仮称）の耐震改修展示工事の実施について

○委員長（久芳美恵子君） 次に、報告・連絡（4）でございますが、同じく文化振興課お願いいたします。

○文化財担当副主幹（英 太郎君） 文化振興課より、ふるさと府中歴史館（仮称）の耐震改修展示工事の実施についてご報告いたします。資料4をご覧ください。

1の趣旨でございますが、ふるさと府中歴史館（仮称）については、旧市立中央図書館の建物内部をリニューアルして、武蔵国府に特化した武蔵国府記念ホール（仮称）、本市に関する文書の収集・保存・公開を目的とするふるさと府中文書館（仮称）、地区図書館としての宮町図書館を設置することを計画しているところでございます。リニューアルに向けての耐震改修展示工事の概要についてご報告をいたします。

2の館内に設置する施設と内容でございますが、館内各階には次の施設を設置いたします。

館内は1階から4階までございます。なお、耐震設計の床加重等の見直しによりまして、当初3階に設置を予定しておりました宮町図書館は2階に設置し、2階に設置予定の事務室を3階に設置するよう変更いたします。裏面の図をご覧ください。

1階は、武蔵国府記念ホール、展示室となります。資料2枚目のイメージ図をご覧ください。本施設は、立地する武蔵国府跡、国衙跡に特化した展示コーナーを中心として、くらやみ祭り等の府中の歴史文化を紹介する映像コーナーや、30年以上にわたる発掘調査の成果を公開するデータベース等を整備して、市の中心部を初めとする歴史・文化財情報のガイダンス施設といたします。また、役割につきましては、郷土の森博物館との役割分担を明確にいたします。

(2)でございますが、2階はふるさと府中文書館及び宮町図書館となります。2階の東側はふるさと府中文書館、市の歴史的公文書の閲覧コーナー、市刊行物を備えた資料コーナーを置き、閲覧の受付やレファレンスに応じるなど、文書館業務を行うとともに、所蔵する資料等の展示コーナーを設けます。

2階西側は、宮町図書館。地区図書館として、現在は1階にある宮町図書館を移設、設置いたします。

(3)でございますが、3階東側は、国府資料室・会議室となります。国府資料室には、武蔵国府をはじめとする全国の国府関連の発掘調査報告書などの図書資料等を配架して、閲覧いただけるようにいたします。また、北側を間仕切りして、講演会や体験学習など多目的に利用できる会議室を設置いたします。なお、3階西側には、施設全体の管理に当たる事務室を設置いたします。

3の工事の内容でございますが、次の表のとおり工事を実施いたします。工事の区分、工事箇所、内容でございますが、耐震工事は全館で行い、図書館棟の耐震壁の増設を行います。内装改修工事は全館で行い、間仕切り壁の新設等建築工事、電気設備工事、空調設備工事、給排水衛生設備工事などを行います。展示工事は、図書館棟1階及び2階に限定して行い、国府記念展示ホール及び2階文書館展示室の展示工事を行います。

A3の折込の図面をご覧ください。耐震改修工事の概要を図面表示したものでございます。表紙1枚目の裏側に建物の概要、2枚目の表に既存の平面図と改修後の比較、2枚目の裏に2階の既存の平面図と改修平面図の比較、3枚目の表に3階の既存の平面図と改修平面図の比較、3枚目の裏に4階の既存の平面図と改修後の比較がそれぞれ載っております。最終平面図の太線が、新たに設置をいたします耐震壁でございます。

最後に、資料に戻りまして、4の今後の予定でございますが、平成22年1月から耐震工事、内装改修工事、展示工事の開始をいたします。平成22年10月に、耐震工事、内装改修工事が竣工いたします。平成22年12月に展示工事が竣工いたします。平成23年1月から3月にかけて、施設備品等搬入、また開館準備を行います。そして平成23年4月に開館をいたしたいと考えてございます。

以上でございます。

○委員長(久芳美恵子君) ふるさと府中歴史館(仮称)の耐震改修展示工事の実施について、図面等を含めましたご説明をいただきました。いかがでございましょうか。はい、どうぞ。

○委員(谷合隆一君) 2点ほどあります。

まず1点目は、この仮称のふるさと府中歴史館というものを、今後どのような方法をとって

ネーミングを決めていくのかというのが1点。

あと、平面図で大体の内容はわかるのですが、図書館は別として、国府であったり、くらやみ祭りであったり、特に府中市内の人はもちろん、近隣や遠くからもお客さんが見えるような施設になると思ひまして、そういった際に、ここに休憩コーナーというのがあるのですが、どのような内容なのか、ちょっとここだけではわからないのですが、簡単な軽食とか喫茶のような、何かそういうコーナーがあると、場所的に周りにあまり何もないところなので、施設内に何かそういうコーナーがあると長くやすいのではないかなと思うのですが、この2点、お願いします。

○委員長（久芳美恵子君） はい、お願いいたします。

○文化財担当副主幹（英 太郎君） ふるさと府中歴史館というのは、あくまで仮称のネーミングでございますので、今後、しかるべき候補を煮詰めまして、それに基づきまして、例えば公募をするとか、あるいは投票いただくという、具体的な方法はまだ決定しておりませんが、市民のご意見を伺いながら、しかるべき名前を決めていきたいと考えてございます。

また、2点目の、遠方から来られる方の休憩コーナーはということでございますが、場所的に非常に狭いものですから、お食事はなかなか難しいかと考えてございます。つきましては、自動販売機、あるいは飲み物程度の休憩をいただけるようなものを考えておりまして、大國魂神社の境内の「お休み処」が本格的な休憩の場所ということもございまして、そちらと連携しまして、ご案内などをさせていただきたいと考えてございます。

○委員（谷合隆一君） ありがとうございます。1点目のネーミングについては、ぜひ、このネーミングで行きたくなる、ならないというのが大きいと思いますので、ぜひうんと集まるネーミングを募集していただきたいと思います。

○委員長（久芳美恵子君） 結構、府中のネーミングは、いいネーミングがありますよね。「くるる」であるとか。ぜひまた谷合委員のおっしゃったようなインパクトのあるネーミングをお願いいたします。

それから「お休み処」も、大変、私、個人としてはうれしいなと思います。そこがご紹介されて、障害のある方たちが生き生きとして働いていただければと思います。

私から1点いいでしょうか。宮町図書館に、地域図書館になりますが、この宮町図書館の広さというのが、今までの中央図書館から考えると、本当に3分の1という感じなのですが、大体地域図書館というのは、このぐらいの広さで地域の住民の方のニーズにこたえているということから、こういう計算になっているのでしょうか。はい、お願いします。

○図書館長補佐（矢部隆之君） 府中市立図書館の地区図書館につきましては、大きさにつきましては、さまざまな大きさがございます。一番小さいところだと、200平方メートル程度のところから、一番大きい地区図書館は、生涯学習センター図書館が1,000平方メートルを超えるというような大きさになりますが、今度設置する宮町図書館については、もちろん大きいほうではございませんけれども、中程度、3万冊程度の蔵書を予定しております。実際に広さというお話ですと、現在、仮設ということで、宮町図書館ということで旧中央図書館の1階部分をかなり広く使っておりますので、それに比べると2分の1ぐらいの大きさにはなりません。今現在、中央図書館の跡地なものですから、かなりゆったりした休憩スペースや雑誌スペースが用意されておりますので、それに比べれば半分ぐらいの大きさという形にはなってしま

いますけれども、地区図書館としては中規模程度と考えておりますので、立地条件的にも中央図書館が近い位置にございますので、十分需要は賄えるかと思っております。

○委員長（久芳美恵子君） わかりました。ありがとうございます。

ほかにいかがでございましょう。はい、お願いします。

○委員（北島章雄君） 改装の部分なのですけれども、今、書庫に使われているところが、今度は資料庫になるということなのですけれども、ここの部分は改装なさるのでしょうか。

○文化財担当副主幹（英 太郎君） 旧書庫棟の部分、当初、郷土館として使っていた部分でございまして、こちらにつきましては耐震等を施しまして、本館とこの書庫棟を切り離すことによりまして耐震強度が増しますので、そうした耐震を強化した上で、中に文書の収蔵、公文書の収蔵です。また国府関連の資料の収蔵庫として使いたいと考えてございまして、人はこちらの中には、職員以外は入らないという形にはなると考えております。ほぼ現状のままということになります。現在、旧中央図書館の棚等がそのまま設置してあるのですが、その棚をそのまま生かした形で使います。

○委員長（久芳美恵子君） よろしいですか。ほかにいかがでしょうか。

最初のほうの発言者の方もおっしゃったように、1階の武蔵国府記念ホール、ぜひ郷土の森の博物館と適宜、役割分担をして、魅力あるものにしていただければと思います。

ほかにはいかがでしょうか。はい、もう1点、どうぞ。

○委員（北島章雄君） 府中の有名なくらやみ祭り等ございますけれども、各地域のお祭りもございまして。そちらのほうの昔からの展示物とか、府中市にはこのようなお祭りがあるよというようなコーナーを設けることが今後あるかどうかをお聞きしたいと思います。

○委員長（久芳美恵子君） はい、お願いします。

○文化財担当副主幹（英 太郎君） 図面の、先ほどちょっと見ていただいた2枚目の図面になりますが、武蔵国府記念ホールイメージ図というものでございまして、東玄関のホールに入っていた、すぐ左側のところでございますが、くらやみ祭り紹介コーナーという形で、くらやみ祭りの映像を見ていただけるようなコーナーをつくりたいと考えてございまして。くらやみ祭り自体が国府のお祭りに由来するということもございまして、国府と関連づけた形で、入口にこういったコーナーを設けてガイダンスをしていく、ご紹介をしていくようなことを考えてございまして。

○文化振興課長兼文化財担当主幹（後藤廣史君） 府中にはいろいろなお祭りがあるわけでございますけれども、国府、いわゆるくらやみ祭りというものは国府のお祭りにつながるということで、古くは国府祭りが今のくらやみ祭りにつながっていると言われていたわけでございます。それでこの歴史館につきましては、ちょうど国府、国衙、中心に置かれる、その立地的なことから、その国府を取り扱う資料館的な、こちらの郷土の森と差別といいますか、区別しまして、そういうところを持っていくということで、立地的な条件があるということで、国府に特化したものをつくっていきたくてございまして。したがって、例えばいろいろな地区でお祭りをやられているとか、そういうところまで、そのお祭りの情報とかを入れますと、それこそお祭り会館というような形になっていきますものですから、その辺のところ、やはり国府の資料館的なガイダンス施設というような、あくまで考えて設置してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） そういうことでございますが、よろしゅうございましょうか。

ほかにはいかがでございますでしょうか。平成23年4月ということでございますから、まだ少し時間がございますが、特にご意見等ございませんようでしたらば、報告・連絡（4）ふるさと府中歴史館（仮称）の耐震改修展示工事の実施について了承いたします。よろしく願いいたします。



◎地区図書館の臨時休館について

○委員長（久芳美恵子君） それでは、報告・連絡（5）でございます。図書館、お願いいたします。

○図書館長補佐（矢部隆之君） それでは、地区図書館の臨時休館につきまして、お手元の資料5に基づきましてご説明させていただきます。

まず1の趣旨でございますが、ふるさと府中歴史館（仮称）開設のための耐震改修工事及びルミエール府中の電気設備点検に伴う図書館情報システム停止のため、一部の地区図書館を臨時に休館するものでございます。

2の休館する地区図書館でございますが、宮町図書館は、先ほどありました、ふるさと府中歴史館（仮称）開設のための耐震改修工事のため、平成21年12月1日から平成23年3月31日まで休館となります。

生涯学習センター図書館につきましては、ルミエール府中の電気設備点検に伴う図書館情報システム停止のため、平成22年2月15日の1日間、休館させていただきます。なお、2月15日につきましては、ルミエール府中の電気設備点検に伴う図書館情報システムの停止のため、図書館につきましては全館、休館となります。

3の閉館期間中の対応でございますが、宮町図書館につきましては、16カ月間になります長期間の休館による市民サービスの低下を補うため、記載のとおり、予約に対するサービス窓口を開設いたします。

(1)の開設場所は、平成21年12月1日から平成22年1月29日までは宮町図書館西玄関内で行い、平成22年2月1日から平成23年3月31日までは、市役所西庁舎1階、談話室内で行います。

(2)の開設日時は、月曜日から金曜日の午後1時から5時までです。ただし、市役所の閉所日につきましては休館とさせていただきます。

次に、資料裏面をご覧ください。(3)の実施業務は、予約資料の受付、貸出です。なお、返却についてはブックポストを設置しまして、そちらで受付を行います。

4のその他でございますが、地域の皆様方への周知、広報についてですが、市内各図書館にポスターを掲示するほか、「広報ふちゅう」、図書館のホームページに記事を掲載し、市民への周知を図るものでございます。

以上で説明を終わります。よろしく願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） 地区図書館の臨時休館についての報告でございますが、いかがでしょうか。

これはちょっと改めて確認ですが、この16カ月間は、いわゆる図書館という、本が並んで

いるというわけではなくて、西玄関または西庁舎1階の談話室内で予約を受け付けるということでございますね。

○図書館長補佐（矢部隆之君） ご指摘のとおりでございます。開架書庫のほうは残念ながらご提供することができませんので、長期間にわたることから、最低限のサービスということで、予約サービスの受け渡しコーナー及び予約を受け付けられるというコーナーを設けさせていただきます。

○委員長（久芳美恵子君） わかりました。

ほかにかがでございましょうか。ご質問ございますでしょうか。

特にご質問、ご意見等ございませんようでございますので、報告・連絡（5）地区図書館の臨時休館について了承いたします。



◎企画展「市制施行55周年記念 ターナーから印象派へ「光の中の自然」
について

○委員長（久芳美恵子君） 次に、報告・連絡（6）につきまして、美術館、お願いいたします。

○美術館副館長（石井順子君） 本日お配りしております見開きのA3のチラシをご覧くださいと思います。

美術館では、平成21年11月14日（土）から平成22年2月14日（日）まで、企画展「市制施行55周年記念 ターナーから印象派へ「光の中の自然」を開催いたします。19世紀前半のイギリスの風景画の巨匠ターナーは「光の錬金術師」と言われ、その光の表現は、フランスのバルビゾン派や印象派絵画誕生の先駆けとなりましたが、これまでそのことはあまり紹介されることはありませんでした。

本展では、マンチェスター市立美術館、ベリ・アートギャラリーなど、イギリス、マンチェスター区域の美術館の所蔵品を中心に、我が国初公開となるイギリス風景画85点を含む油彩画、水彩画をあわせた名品、約100点により、イギリス絵画がどのようにフランス絵画に影響を与え、またフランス印象派がどのようにイギリス絵画に影響を及ぼしたかを紹介いたします。ターナー、コンスタブル、ミレイ、ピサロ、ゴッガンなどが描く明るい輝きと色彩に満ちた大自然の風景画をお楽しみいただけます。

会期中は、府中市美術館開館記念無料観覧日を初め、クリスマスコンサートや記念講演会なども予定しております。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。いかがでございますでしょうか。

11月15日、これは始まって次の日ですか、無料公開の日は、これはちょっと大変なことなるのではないのでしょうか。「ターナーから印象派へ」というのは非常に興味のあるテーマだと、私個人としても興味のあるテーマでございますし、企画展、つい昨日か一昨日の新聞に、多摩川の展覧会がかなり大きく取り上げられていまして、いい企画がたくさんあるなと思った次第でございます。

それでは、報告・連絡（6）企画展「市制施行55周年記念 ターナーから印象派へ「光の中の自然」についての報告を了承いたします。

◇

◎府中の森の文化まつりについて

○委員長（久芳美恵子君） 次に、報告・連絡（7）につきまして、同じく美術館、お願いいたします。

○美術館副館長（石井順子君） それでは、お手元の資料7のチラシでご報告いたします。

11月15日（日）に、府中市美術館開館記念事業とあわせまして、都立府中の森公園をゾーンとする府中市美術館、府中の森芸術劇場、生涯学習センターの3館共同により、今年度はじめてとなる「府中の森の文化まつり」を開催いたします。

府中市美術館では、展覧会の無料観覧や、ティーンズスタジオへの巨大地球儀の展示、ポスタープレゼントをはじめ、NPOによる市民古書市や、彫刻ガイドツアー、ワークショップなどを行い、生涯学習センターでは、美術館ビデオライブラリーの無料上映、府中の森芸術劇場ではウィーンホール的一般開放として、パイプオルガンコンサートと、パイプオルガンの裏側の見学などを実施し、3館共通イベントスタンプラリーや、府中の森公園内の花のプロムナードでの屋台コーナーなどを予定しております。「みる、きく、つくる、楽しい秋の一日」を、府中の森の文化施設をつなぎ、美術と音楽と文化が一体となって体験できる機会を発信してまいります。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） 本年度、初回の文化まつりということでございますが、いかがでございましょうか。ご意見等ございましたら、ぜひどうぞ。はい、お願いいたします。

○委員（谷合隆一君） 3館スタンプラリーでそろえた場合にいただける美術館絵はがきというのは、どんなものなのでしょうか。

○美術館副館長（石井順子君） 収蔵している作品の絵はがきが、相当の数、種類がございますので、そのときに提供できるようなものを、できるだけ多くの方に好まれるような絵はがき、選抜するのに相当な数がございますので、その中から多くの方に好まれるようなもので、選んでいただけるようなものを10点ぐらい選ぼうと思っております。お一人さま1枚、何千人という方が回るとお思いますので、お一人さま3館そろったら1枚だけお選びいただくという形を予定してございます。

○委員（谷合隆一君） これは回る順番がどうなるかわからないので、3カ所すべての場所でもいただけるようになっているということですか。

○美術館副館長（石井順子君） はい。

○委員長（久芳美恵子君） いかがでしょうか。府中の森芸術劇場から真っすぐ美術館までの道というのは、非常にいいところで、かなりお子さんたちを連れた親御さんたちも、平日でも多いところですね。だから生涯学習センターへの道のところをどう工夫するかということがポイントかもしれませんので、三つそろえて絵はがきをもらえるということは、いいかもしれません。

ほかはいかがでしょう。11月15日、美術館も無料ですので、本当に大勢の方がおいでになっていただけるものと思います。

報告・連絡（7）府中の森の文化まつりについて、了承いたします。よろしくどうぞお願いいたします。

それでは、その他、何かございますでしょうか。



◎教育委員報告

○委員長（久芳美恵子君） 特にないようでしたら、教育委員の報告にまいます。

教育委員報告をお願いいたします。

○委員（崎山 弘君） それでは、まず崎山から。

9月26日に、私は医師会のほうにも関係しているのですが、府中市の小・中学生の腎臓病検診というのをやりました。これはどういうふうにするのかと思われるかもしれませんが、学校検尿、学校保健安全法に基づいて、学校でおしこの検査をしなければいけないというルールがあるので、その経過観察検診です。これは市によっては、予算のないところは勝手にやりなさいという紙をもらっておしまいというところもあるのですが、府中市はこの経過観察を夏休みの後でもう1回診ましようということで、要するに不要な受診を減らすということで、市民の便宜を図っているということかなと私は思っていますので、小さいことではありますが、非常に有意義なことだと思っています。今回もそれをやってまいりました。幸い重症の方はおられませんでした。

10月1日、この教育センターで日光林間学校のインフルエンザの事例について、校長先生にお話をさせてもらいました。それまでは、正直言って、危機感をあまり持っていらっしやらない先生方もおられたようですけれども、1人が最大6人にうつすという、非常に特異な疾患であるということをご理解いただけたのではないかなと思います。現時点ではきちんと対応が学校に求められている状況だということを理解していただけたのではないかなと考えております。

10月4日、日曜日、土曜日が雨で延期になった新町小学校の運動会に参加しました。幸いこの日は天気がよくて、校長先生のお話だと、雨が続いて全体練習がなかなかできなかったのですが、前日、朝だけはまだ雨が降らなかったため、入場行進の全体練習ができたそうなので、朝から全部やり直しを言っていましたけれども、子どもたちも楽しそうに参加しておりました。

8日が陸上競技会があったのですが、それも台風で中止になりまして、今やっているのかな。自分も一度、見てみたかったなと思ったので、ちょっと残念でした。

先ほど申しましたインフルエンザに関しては、今現在、はやっていますので、これに関してはどの学校もこれからの対応が必要だろうと考えております。

以上です。

○委員（谷合隆一君） 谷合から報告します。

9月20日、市民体育大会秋季大会の開会式に出席しました。秋晴れのすばらしい天候のもと開会式が行われたのですが、この中で印象に残ったことは、入場する選手団の皆さんが大人も子どもも本当に楽しそうにスタンドの前を行進していく姿だったのですが、全体で1点、気になったのは、入場行進をしてくる前に、皆さん、恐らく随分長い時間、待機をされていると思うのですが、開会式も含めて全体の時間がちょっと長過ぎるのではないかなと感じました。特に小学生などは、天気がよかったせいか、ちょっとつらいのではないかなと感じたので、もう少し時間を短くまとめられたらなと思いました。

10月3日、残念ながら雨が降ってきてしまったのですが、住吉小学校の運動会に、開会からいたのですけれども、パラパラと降り出す中で開会式と準備体操が終わりまして、赤組と白組の応援合戦が始まったところで雨粒が、雨足が強くなりまして中断になって、午後から再開したということなのですが、私、ちょっと午後にも予定があったので、残念ながら1種目も見られずに、また、残りが昨日ですか、行われるということでご案内いただいたのですが、残念ながらそちらにも伺えなかったのが、ちょっと残念でしたけれども、校長先生、またPTA会長さんとお話をしてきました。

10月9日、小学校の陸上記録会、Dブロックでしたか、第三小学校、若松小学校、白糸台小学校、南町小学校、本宿小学校の5校の陸上記録会に行きました。新型インフルエンザと悪天候が続きまして、各校の先生方は練習不足を大変心配していたのですけれども、恒例になっております、開会に先立って行われました学芸大学陸上部の皆さんによるデモンストラクションを見て大きな歓声が上がったり、簡単なアドバイスもいただいて、児童たちは各種目に元気に記録に挑戦していました。

市民体育大会も小学校陸上記録会も、府中市の陸上競技場で行われているのですが、行くたび思うのですけれども、トラックの内側にある白いレールがありますよね。これは本当になければいいと思うのですけれども、なくすことってできないのでしょうか。これは子どもだけでなく、お年寄り、高齢者の方であったり、障害者の方もあそこは使うので、もし、何かに利用しているレールだとは思っているのですけれども、違う方法で、埋め込み型とか、できないかなと思うのです。何度もつまづく姿を見ているし、ほかのトラックにもすべてあるものなのかどうかということ、ちょっとほかでは気にしたことがないのですが、特に府中市陸上競技場に行くたびにそれは思うので、その辺だけ、何か絶対ないといけないのだというようなことなら仕方ないのですが、何か方法を考えていただければと思いました。

以上です。

○委員（北島章雄君） 北島より報告させていただきます。

9月13日、府中の森芸術劇場ふるさとホールで、第45回市民芸術文化祭開会式に出席いたしました。壇上の生け花が毎年飾られてあるのですけれども、府中市の生け花連盟のお花はすごく優雅だな、きれいだなと感じました。また、第1部では、府中市の長唄連盟、長唄の勧進帳が歌われまして、とても歌もよく、三味線の音もよく、鼓の音がすごくよくて聞き入ってしまいました。また、回り舞台もすごくよかったですと思いました。

そして9月20日に、第22回市民体育大会秋季大会開会式へ谷合委員と一緒に参列いたしました。やはり児童から、それから高齢の方まで府中市の市民が大勢参加して、本当に府中市一体となって体育を楽しんでいるのだなと感じました。

10月3日は、第一小学校の運動会に私も行ったのですが、その日は朝、本当に天気よかったのですけれども、急に雨模様になって、第一小学校も応援合戦で終わりました。その次の日の日曜日は、ちょっと私もお誘いを受けたのですが、予定がありまして欠席させていただきました。

10月9日の府中市立小学校陸上記録会、谷合委員と一緒に参りました。谷合委員がおっしゃったとおり、今回の陸上競技会の練習は、新型インフルエンザ等で十分な練習ができなかったとおっしゃっていましたが、800メートル走、それから100メートル走、児童

の一生懸命走る姿、それから、その生徒の個性が出ていて、大変見ごたえがありました。

そして10月10日に、みどり幼稚園の運動会に行ってみりました。昨年見学した矢崎幼稚園と同じく、保護者の方々のお手伝いによってスムーズに運動会が行われていました。天気は晴天でしたのですけれども、途中、雨が降る場面があって、少し心配したのですけれども、園児たちの頑張りに、担任の先生、そして保護者、そして園児を応援に来た皆さんも、心地よい感動を得られたと思いました。

以上です。

○委員(糸満純一郎君) 糸満でございます。このたび新たにメンバーに加えさせていただきましたことになりました。どうぞよろしくお願いを申し上げます。

就任間もないので、報告も少ないのですが、2件お願いいたします。

1点目は、先ほどもお話がございました小学校の陸上記録会でございますが、10月の8日、9日という予定で組まれておりましたが、8日が台風のため延期ということで、本日、午前中に、Cブロックなのですが、見てまいりました。たまたまCブロックの武蔵台小学校、崎山先生のところの小学校は、インフルエンザで残念ながら不参加というようなことになっていたようでございます。そのほかの第一小学校、新町小学校、日新小学校、第八小学校、住吉小学校は元気に参加しておりました。私が見た競技は800メートル走と100メートル走と走り幅跳びでした。特に印象に残ったのは800メートル走、何組か競技が行われたわけですが、先頭グループというのは我々が見てもびっくりするほど早いのは当たり前なのですが、後ろの方の走者といえますか、そういう子たちの、あそこは1周300メートルですから、800メートル走というと3周弱ですね。最後の直線コースで友達や先生に頑張れと声をかけられると、一番ビリの子とかビリから2番目の子も、かなりスピードを上げて頑張って走っていました。それを見まして、各競技、自分の得意種目にエントリーはするのでしょうけれども、特に陸上で鍛えている選手が出ているわけではなくて、6年生全員が参加しているというお話でしたので、そういう中で一番後ろのほうの成績の子もラストスパートはすごいスピードが出るのだな、僕なんかついていけないのではないかなというぐらいのスピードで頑張っていましたので、今、子どもたちの体力の低下というようなことも話題になりますけれども、府中の子どもたち、結構やるなど、心強い思いがいたしました。それが1点でございます。

それから2点目は、大変、変則で恐縮なのですが、従来、市議会定例会がございまして、その中の一般質問のご報告は、定例会が終わった翌月の教育委員会の定例会の協議会で各部長がご報告するというようになってございましたが、たまたま私が一般質問で教育部長として答弁いたしましたので、ちょっと変則ですが、教育委員報告の中で、先月行われました定例会の一般質問の概要のご報告をさせていただきます。

定例会そのものは、8月31日から9月29日まで行われておりましたが、そのうちの9月1日と2日に一般質問がございました。何件かございましたけれども、主な方として6人の方から教育関係のご質問をいただきましたので、概要をご報告申し上げます。

初めに小野寺淳議員でございますが、武蔵台小学校の児童減少対策について、現時点でどのように考えているかというようなご質問がございました。その中の質疑で、武蔵台小学校の児童数はここ10年間に100人程度減少している。しかしながら、今後は増加の傾向にあり、平成26年度には新入学児童が83人が見込まれ、全体の児童数も350人を見込んでいる。

現在は、この見直し検討協議会を開催し、市内小・中学校すべての学校について検討している。武蔵台小学校地区においても、児童の通学時の安全確保を最優先しながらも、何らかの方法で児童減少対策につながるよう努めるというお答えをしたところでございます。

お二人目が比留間利蔵議員で、学校の教室不足問題に関連し、第六小学校南側の都有地を学校用地として取得する意向があるかというご質問をいただきました。この中で、この都有地は、都営住宅建てかえに伴い、都において留保されたものである。一方、第六小学校は市内で最も児童数の多い学校で、校庭が手狭な状況にある。教育委員会としては、当該都有地を学校の拡張用地として取得することが、良好な学習環境を維持する上でぜひ必要と考えているので、関係部署と協議してまいりたいとご回答申しあげました。

比留間議員の2点目は、校庭の芝生化、今後の取り組みについてということでご質問いただきました。そのお答えとして、教育委員会では環境教育に重点的に取り組んでいるが、その一環として、校庭の芝生化についても取り組んでいると。そこで来年度以降の取り組みは、都の補助制度を活用して、少なくとも毎年2校ずつ実施し、平成25年度までには全校の芝生化をする計画となっているので、関係部署と協議しながら、その実現に努力したいというお答えをいたしましたところでございます。

3人目は手塚歳久議員でございまして、中学校部活動の充実についてと題してご質問がございました。この質疑の中で、平成21年度の部活の参加状況は、全生徒5,408人のうち運動部系が58%、文化系が25%、どちらにも参加していない生徒が17%である。部活動の存廃については、第一に生徒の希望の有無、第二にその学校における継続性、第三に顧問教員の存在となる。第八中学校のバレー部については、7年前に顧問の転任により外部指導者に指導を依頼し、中体連の大会の引率については教員が担当することとなった経緯がある。ところが、現指導者から退任したい旨の申し出があったので、休部せざるを得ない状況となった。現在は新たな指導者が見つかり、練習を続けている。現在、正式な部活動の位置づけではないが、学校としては平成22年度から部活動を再開させたい意向であると聞いていますとお答えしたところでございます。

次に、杉村康之議員からは、環境教育、エコスクールへの取り組みについてと題してご質問いただきました。この答えといたしまして、国のスクールニューディール構想に対し、市教育委員会としてはICT環境の整備を重点的に実施することとした。学校エコ改修については、校庭の芝生化やビオトープの設置等を推進している。断熱ガラスや断熱壁などの施行については、校舎の改築時にあわせて対応していきたい。環境教育の取り組みとしては、「府中市学校教育プラン21」の実施計画に新たな柱の一つに位置づけた。具体的には、校舎の壁面緑化、キッズISO14000の実施、都教委のCO₂削減アクション月間への参加のほか、エコキャップ運動や多摩川の地域の環境調べなどに取り組んでいるというお答えをしたところでございます。

それから前田弘子議員から、インクルーシブ教育を目指して、就学時健康診断における知能検査のあり方についてと題してご質問がございました。これに対しまして、就学時健診は法令に基づき、就学予定者の心身の状況を把握し、保健上の必要な助言を行い、適正な就学について指導し、義務教育の円滑な実施に資するために行っている。知能検査もその項目の一つとなっている。平成16年度から、6名を1組とした集団面接方式に変更している。個別面接から

集団面接に変更したことにより、幼児の緊張感が緩和され、時間が短縮されたので負担も軽減された。知能検査は就学時健診の項目の一つであり、障害者権利条約の理念に反するものではないと認識しているというお答えをしたところでございます。

最後に赤野議員から、奨学金と入学時初年度納付資金貸付制度の改善、拡充を求めてと題してご質問いただきました。これに対しまして、申し込みに対し給付または貸し付けとならなかった主な理由は、本人の学力が要件を満たしていない場合や、保護者の所得が制限を超えてしまっている場合などがある。年度途中の申し込みについては、現在、3月の同一時期に受け付け、選考していることから、利用者の公平性を担保する上からも難しいと考える。学力要件については、例えば給付型奨学金の場合、年間で約80名という予算的な枠があることから、成績順に上位から80名を選考している。奨学金の目的や性格を考えた場合、現時点ではこれが最善の方法であると考えているというようなお答えをしたところでございます。

以上です。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。

それでは、久芳から簡単にご報告いたします。

10月3日ですが、午後から第三小学校の運動会を見学させていただきたいと思っていたところ、午前中、もう始まってすぐのところまで雨が降ってきて、すべて翌日のものになったというところでございました。日曜日は予定が入っていたので、残念ながら出席はできませんでした。

10月10日の矢崎幼稚園の運動会は、とても朝から晴れてよいお天気でございました。旧福祉センターの跡地の広場を使いまして、ほかの幼稚園の園庭に比べれば非常に広い場所での運動会でございました。ここで4月に入園した年少児が、クラスごとにしっかり並んで行進しているのに、非常に感動いたしました。4月の入園式のときには、保護者のそばから離れられずに泣いていた子が一人や二人ではなかったもので、6カ月の間に成長しているなど実感をいたしました。同じように、年長児に関しては、ここではディズニー体操というのを全園児でやったのですが、その体操のときに8人の年長児がクラスの前に立って師範をするのですが、しっかり演技をしているというのがわかります。やっぱりこの1年間の差というのは大きいのだなと思いました。

それと、これは何十年ぶりかで私が来賓、保護者競技にも参加させていただきました。ちょっと足がもつれる感じでしたけれども、保護者の方々と交流が深まりました。保護者の方、非常にもう頑張って、張り切っていらっしやいました。

それで、北島委員からの報告にもありましたように、本当に多くの保護者、特にお母さんが道具係ですとかを、張り切って積極的にしていただいて、あの方たちがいなかったら幼稚園の運動会は成り立たないと思うぐらいの活躍ぶりでもございました。本当に園と保護者が一体となっつつくり上げているなどということを実感したものでございます。

以上でございます。

それでは、第10回府中市教育委員会定例会をここで閉会させていただきます。ご苦勞さまでございました。



午後2時41分閉会